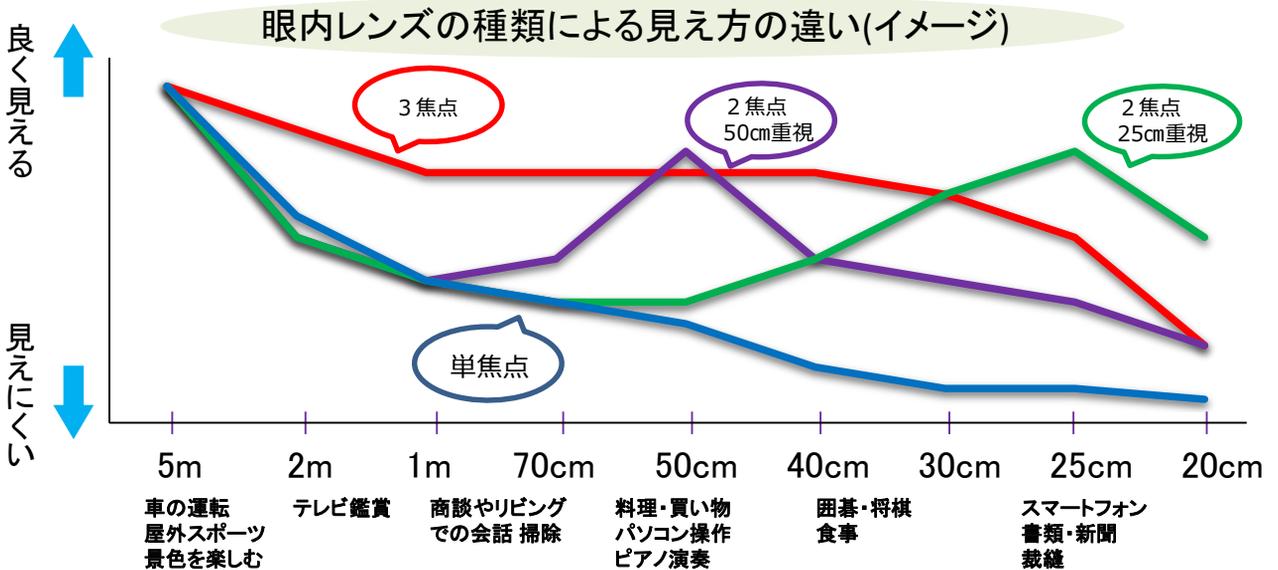


多焦点眼内レンズ:3焦点レンズの取り扱いを開始しました

白内障手術では混濁した水晶体を取り除き、新しいレンズを眼内に入れます。当院では今まで常に一定の距離にピントの合う単焦点レンズと、遠方の他に老眼改善を目的に中間距離・もしくは近方のいずれかにピントのあう2焦点レンズ(多焦点レンズ)を取り扱っていましたが、この度遠方・中間距離・近方のいずれにもピントがあう3焦点レンズが先進医療の適応となったため、取り扱いを開始しました。



- ・ 今まで使用していた2焦点レンズでは、中間距離を重視すれば近方、近方を重視すれば中間距離でピントの合いにくい部分が生じていたため、よりはっきりと見たい場合には眼鏡を使用する必要がありましたが、3焦点レンズでは遠方から近方(30cm程度)までピントが合いやすくなり、眼鏡を必要とする場面がほとんどなくなると考えられます。
- ・ 強めの乱視がある場合は、乱視矯正効果のあるトーリック3焦点レンズを使用し乱視の矯正を行います。
- ・ 多くの多焦点レンズの特徴である、強い光源を見た場合に光をまぶしく感じたり(グレア)、光の周辺に輪がかかってみ見える現象(ハロー)を強く自覚する可能性があります。

【手術の適応】

3焦点レンズは、従来からある2焦点レンズ同様、すべての方に適しているわけではなく、白内障以外にも眼の病気がある方や、強度近視の方は適応になりません。

【費用について】

- ・ 3焦点レンズは先進医療に該当します。手術に必要な術前検査や処置・薬・検査・診察・入院料などは、健康保険扱いです。
- ・ 手術の料金は片眼につき400,000円、トーリック眼内レンズによる乱視矯正は450,000円です。
- ・ ご希望の方は、診察の際、医師にご相談ください。